

町指定文化財

ひなわしきさきこみじゅう

15 火縄式先込銃



和合村は、慶長3年（1598）から大正7年まで猿投祭りに参加していました。猿投神社までの道中は馬の鞍に「だし」を飾り、警固として棒の手組・鉄砲組と隊列をととのえ、火縄銃が重要な役割を担っていました。和合春日社の祭礼にも火縄銃が警固役で祭を盛り上げていました。二丁の銃は江戸時代中期の製作で銃身に「国友紋三郎」の銘が刻まれています。（昭和52年5月、銃砲刀剣類所持等取締法に基づく美術品登録）